

芽が出てきた！ 大きな芽が、いくつも！

去年は（世界中が）前例のないコロナ騒動で、PTA役員会も各委員会さんも、異例のスタートとなりました。

前年度まで開催してきたイベントも、ことごとく中止され、残念な1年になってしまいました。

その点今年は、ある程度コロナの影響は見越した上でのスタートでしたから、去年ほどの混乱はないのでは、と想定していました。

が、蓋を開けてみると！

想像以上に各委員会さんのヤル気が凄い！

先日配布されたPTA新聞にも書きましたが、"大変"な年というのは、"大きく変わる"年でもあると思うのです。

今年はまさに、各委員会さんが怒涛の勢いで大きな変化を始めてくださっています。

また、委員会同士の横の連携も凄い！

本来の業務ではない事業に対しても、"そっちだけじゃ手薄でしょう？こちら手を買すよ"というやり取りが自然発生しています。

今から約30年前のお話。

若き日の僕は、ガードマンのバイトをしていました。

時には交通量の多い2車線の道路で、路面工事のために片側ずつ車を止めて交互通行にする現場。

トランシーバーからは、"黒いハイエースが行ったらそっちを流せ！""途中で原付が1台入ったからそれも通せ！"と、ひっきりなしに指示が入ります。1つでも聞き逃すと、両方から車

が流れこんできて大混乱になってしまうので、パツパツの緊張が8時間ずっと続きます。

またある時には、深夜の住宅街でマンホールの横に立ってるだけの現場。

人はおろか、犬も通らないシーーーンと静まり返った住宅街。

オレはなんでここに立ってんの？

ガードマンという仕事があるからオレがここに？オレがいるからガードマンが…？と、これはこれでアタマは大混乱。

"もう20分ぐらい経ったかな？"と時計を見ると、まだ3分も経っていない…絶望の8時間でしたね。

PTAの活動を考えるとき、いつもこのバイトを思い出します。

子ども達のためにアレコレと企画、準備、実行を繰り返し、気づけばあつという間の1年だったわ！という活動もあれば。

特に何をするわけでもなく、何なら他の委員さんから"そちらは暇で良いわね"と揶揄されるようなところもあるかも知れません。

そんな格差が発生しないように気をつけないと、と心配していたのはまったく杞憂でした。

役員会から何か提案するまでもなく、どんどん新しい企画が生まれてきます。

こうなったら、役員会もそれに負けないよういろいろと新企画を考えないと！

1年間があつという間に過ぎてしまうぐらい、大忙しの日々を送り、最後には"おおきなかぶがぬけました""あまくておいしいかぶでした"となりますように！

<これまでの役員会活動報告>

春先に役員の選出（というか立候補）があり、選挙委員会で公認されてからが、本格的な役員会の始動です。

まずは各委員さんの募集が大きな仕事でした。

これまでのポイント制に基いて、"誰が何ポイント"というリストを作成しました。

（手前味噌ですが、今年の書記のお2人はExcelが得意なので、このテの作業の的確さと速さにはビックリ！）

そしてそれぞれの委員で委員長の選出があり、そこからは役員会と各委員長/副委員長を含めた"実行委員会"というものが開かれます。

例えばイベント委員さんが"夏休み期間に水遊び大会というのをやりたい"という企画を出されたら、その予算や内容などについて相談するのが、この実行委員会です。

7/7に開催された実行委員会では、早くも10月に行われる予定の運動会についての協議が始まりました。

去年は来場者数を制限する"コロナモード"での開催でしたが、今年も同様なのか？それとも別の方式になるのか？

まだまだ学校の先生方も苦慮されているようですが、どんな方式になったとしても、保護者全員が気持ちよく応援できる体制を作れるよう、精一杯検討を重ねて参ります！

